

公益社団法人

日本眼鏡技術者協会 会報

No. 141

2013年(平成25年)春号 4月発行



編集/発行 公益社団法人 日本眼鏡技術者協会

発行人 津田節哉 編集人 吉野勝

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-6
TEL 06-4807-5070 FAX 06-4807-5009

URL <http://www.megane-joa.or.jp/>

E-Mail joa@maple.ocn.ne.jp

無断転載・転用・複製を禁じます

information (認定眼鏡士 PR について、25・26 年度代議員)・・・2

議事報告(理事会)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

講師紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

教育部関連、事務局より・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

消費者からのご相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

technological lecture・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

認定講習会のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15



JOAのテーマ 眼鏡学の確立はJOA

今年度の認定眼鏡士 PR は

当協会オリジナルクリアファイル



今年度の認定眼鏡士の PR は、当協会オリジナルのクリアファイルに決定しました。昨年のリーフレット・ポスターと統一感を持たせたものとなります。

会員・認定眼鏡士の皆さまには、各 10 枚ずつ配布させていただきます。6 月初めに発行する教育特集号に同封の予定（変更の可能性もあります）。

なお、オリジナルクリアファイルは追加をご希望の方に 20 枚 1000 円（送料込）でご購入いただけます。

また、昨年度のリーフレットとポスターですが、リーフレットは 100 部、ポスターは 2 枚 1 組で各 1,000 円（送料込）でご購入いただけます。

ご希望の方は事務局（TEL06-4807-5070）までお問い合わせください。

議事報告

理事会

支部代議員の選挙結果を発表

今年度の認定眼鏡士 PR はクリアファイルで

平成 25 年度事業計画案ならびに収支予算案
(議案 1)

各担当部長が資料に基づき説明し、承認された。(4～6 ページ参照)

(報告事項)

平成 25・26 年度支部代議員選挙結果／代議員および補欠の選挙結果について、代議員 110 名、補欠 47 名を発表(3 ページ参照)。

平成 25 年度生涯教育について／生涯教育、実技講習の内容、実施要領、テーマについて説明 (9 ページ参照)

眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動きについて／岡本理事 (同機構代表幹事代行)

日時／平成 25 年 3 月 6 日(水)午後 2 時～4 時
場所／ニューオーサカホテル
出席／理事 25 人中、出席 20 人、欠席 5 人。
監事 2 人中、出席 2 人

より、推進機構ニュース No. 2 を基に報告。(推進機構ニュース No. 2 は日本眼鏡士連盟から送付予定)。

その他①平成 25 年度 PR 事業／写真、文章を印刷したクリアファイル、3 m 用の視力表、カレンダーの案が提示され、上記クリアファイルに決定。後日意見を集約することとなった②子供用の花粉防御用メガネに対する注意喚起(11 ページ参照)③認定眼鏡士の商標登録について／配布資料に基づき説明。提案通り進めることを確認④会員数ならびに認定眼鏡士登録者数(2 月末現在)／会員数 6,502 人、認定眼鏡士 7,647 人

25・26 年度代議員

支部 定数	代議員
北海道 9名	伊藤悟
	東勇
	佐藤良治
	中山勝弘
	柴田一男
	諏訪光男
	大熊清
	中里幸生
	青木みゆき
青森 1名	羽田和弘
岩手 1名	村上吉則
宮城 4名	熊坂謙一
	後藤忠一
	松澤等
	相澤博彦
秋田 1名	一ノ関勝義
山形 1名	菅野年央
福島 1名	齋藤知二
茨城 1名	成田周一
栃木 2名	坂本恒五郎
	中田康之
群馬 2名	南波邦敏
	保坂達夫
埼玉 4名	大久保善司
	山崎満
	栗原宏治
	大木重雄
千葉 5名	上野純雄
	豊福厚至
	石橋直
	板倉進
	嵐武夫
神奈川 5名	本多純二
	米村護
	興津秀夫
	宮澤秀仁
	小野明夫

支部 定数	代議員
山梨 1名	小宮山隆則
長野 3名	林四郎
	中澤國忠
	小松賢自
新潟 3名	斎藤富男
	上田茂
	古澤壮一
富山 1名	井上定信
石川 1名	片岡幹雄
福井 1名	赤松賢治
東京 10名	金井崇
	山崎親一
	片山敬三
	伏見省三
	九鬼悦子
	前川公一
	杉本佳菜子
	船戸好則
	高橋一成
	杉谷宗彦
田坂進	
岐阜 3名	中島敏幸
	堀江晃
	佐藤正次
静岡 3名	疋野智男
	斎藤淳一
	平岩幸一
愛知 5名	高木康光
	天野賢一
	石川洋一
	成田光宏
三重 2名	宇城基悦
	岩佐正孝
滋賀 1名	金森敏彦
京都 3名	鈴木利夫
	三宅義造
	北村東司

支部 定数	代議員
大阪 10名	吉田浩通
	西田博之
	福田吉美
	亀井正美
	中尾卓司
	平井了
	吉野勝
	梅岡宏史
	西村輝和
	乾隆司
兵庫 5名	北出彌一郎
	野矢正
	松本啓
	島津一介
	小林常夫
奈良 1名	森本勝
和歌山 1名	山田稔
鳥取 1名	持田典子
島根 1名	横山武志
岡山 1名	辻戦三
広島 1名	山下俊明
山口 1名	吉永嘉男
徳島 1名	竹田保世
香川 1名	銭川博美
愛媛 1名	田部健二
高知 1名	楠瀬剛志
	野口毅
福岡 3名	仲西隆義
	藤島朝慶
佐賀 1名	清水信弘
長崎 1名	中村尚広
熊本 1名	前田敬介
大分 1名	釘宮輝善
宮崎 1名	山口清一
鹿児島 1名	岡野和典
沖縄 1名	松本友造

訃報

藤見 博氏（熊本県支部長）は、かねてより病氣療養中のところ3月24日午後逝去されました。77歳。藤見氏は、平成22年度から熊本県支部の支部長（代議員兼務）として支部の運営にご尽力いただきました。心よりご冥福をお祈りいたします。

1	総会の開催 (法人会計)	平成25年6月に通常総会を開催し、①平成24年度事業報告および収支決算②平成25年度事業計画および収支予算
2	理事会の開催 (法人会計)	(1) 平成25年5月に理事会を開催 ①平成24年度事業および収支決算報告②6月に開催する通常総会の議案等について審議 (2) 平成25年10月に理事会を開催し、平成25年度上期事業報告および中間決算報告を中心として審議 (3) 平成26年3月に理事会を開催し、平成26年度事業計画および収支予算について審議
3	正副会長会議の開催 (法人会計)	原則として、総会・理事会の開催に先立ち、議案の内容について審議
4	認定眼鏡士の 資質向上に 関する教育事業	<p>消費者の求めに応じ眼鏡を調製する眼鏡技術者に、消費者の視力を保護し、最新の技術知識によるビジョン・ケアを提供する上で、消費者の信頼が得られるよう眼鏡技術者の責務を明確にし、資質を維持・向上させるための資格認定試験および資格取得者(認定眼鏡士)に対する生涯教育を実施する。</p> <p>(1) SS級認定眼鏡士の認定試験(公1) = 眼鏡専門学校を卒業せずに認定眼鏡士の資格を取得しようとする眼鏡技術者を対象とした資格試験。試験合格者は、眼鏡専門学校の3年制のカリキュラムを修了した人と同一レベルの資格と位置づけている。試験の実施時期は例年通り8月～9月の予定。試験内容は、学科5科目と実技3科目 ①学科試験=視機能系・マネジメント系・医学系・光学系・加工調整系の5科目、5会場+α、1日②実技試験=加工・視力測定・フィッティングの3科目、5会場、1日</p> <p>(2) 生涯教育(公2) = 眼鏡技術者に、ビジョン・ケアに関する最新技術・知識を教育するため、時機に適したテーマを選定し、全国各支部を巡回し講習会を開催。講習会は、例年通り6月下旬からスタートし、11月頃までの期間で、支部ごとに会場を確保して実施。今年度のテーマ、スケジュールなど詳細は5月に発行する「教育特集号(保存版)」に掲載 ①生涯教育(学科講習会) = 3時間/会場、30会場 ②実技講習会 = 3時間/会場、20会場</p> <p>(3) SSS級認定眼鏡士への進級のための講習会ならびに試験(公1、公2) = 認定眼鏡士として最上級の資格であるSSS級認定眼鏡士の試験は7科目の学科試験。試験に先立ち事前講習会を開催。実施時期は例年通り8月～9月の予定 ①SSS級認定眼鏡士試験事前講習会 = 年1回、2会場、5日間 ②SSS級認定眼鏡士試験 = 年1回、2会場、7科目/2日間</p>
5	新入会員受付 (法人会計)	眼鏡専門学校の卒業生および当協会の実施する認定眼鏡士試験に合格した人の新入会は年間を通して随時受付。
6	認定眼鏡士 登録・更新 (公1)	眼鏡専門学校卒業生およびSS級認定眼鏡士試験に合格した人を対象に新規登録の受付、またすでに認定眼鏡士の登録を済ませたあと3年が経過し、かつ、更新に必要な生涯教育の受講回数を満たした人を対象に更新登録の受付を実施。受付期間は例年通り12月～来年3月末まで、登録・更新日は4月1日。

7	認定眼鏡士制度の普及、啓蒙事業 (公4)	(1) 消費者に対して認定眼鏡士の目的、役割等についてPR活動を展開する。具体的には眼鏡技術者国家資格推進機構とタイアップし、眼鏡技術者に国家資格の必要性を訴求するリーフレット、ステッカーなどを作成してPR活動を展開する (2) 各支部においては、10月1日のメガネの日を中心に支部の実態に応じたPR活動を実施
8	社会福祉事業 (公5)	眼鏡技術者の社会的使命を遂行するため、失明予防事業への協力やメガネの無料点検などの社会福祉活動を実施。 (1) 毎年10月に開催される「目の愛護デー」の協賛活動は、支部単位で参加 (2) 日本失明予防協会、世界オプトメトリー会議への失明予防活動助成金の寄付を年1回、下半期に実施
9	広報活動事業 (公4)	(1) 会員向け広報誌の発行。4月、9月、12月の3回は、認定眼鏡士制度の運用状況、生涯教育テーマ・日程、総会・理事会等の決定事項、ビジョン・ケア関連技術などについては会報、また5月には年間教育日程を集約し教育特集号として発行 (2) ホームページの管理・拡充。消費者、会員に向けて随時情報を更新
10	組織強化と支部活動支援事業 (法人会計)	ブロック会議を開催し、協会の事業方針、活動内容を周知するとともに、支部役員との意見交換を通じ地方の声を協会の活動に反映させる。また、より広範囲の会員、特に青年・女性の声を反映し協会活動の活性化を図るための方策について会員組織部を中心として検討。 (1) 例年通り年1回、10ブロックごとにブロック会議を開催 (2) 支部活動支援のため、原則として5月に支部助成金を支給 (3) 青年部・女性部の組織化について検討する
11	眼鏡技術に関する国内外の資料および情報の収集、調査、研究事業 (公3)	ビジョン・ケアに関する新しい技術・知識について、資料および情報を収集するとともに、眼鏡技術者の国家資格取得を目指した活動を展開する。また、海外のオプトメトリストの制度、ビジョン・ケアについての最新情報などについて調査・研究を行い、セミナー開催による情報の共有化などを図る。 (1) 眼鏡専門学校生の研究事業を助成するため、優秀な研究テーマに対して奨励金を拠出。該当研究内容については、広報誌などを通じて周知を図る (2) 学術的テーマに関しては、日本眼鏡学会との共催によるシンポジウムを開催し、より幅広い技術・知識の修得の場を提供 (3) 認定眼鏡士制度が、消費者からより一層の信頼を得られるよう、認定資格制定委員会を開催し、制度の見直し・拡充を図る (4) 眼鏡技術者の国家資格確立に向け、「眼鏡技術者国家資格推進機構」の中で具体的な取り組みを行う
12	海外眼鏡技術者との交流事業 (公3)	ビジョン・ケアに関する海外の状況を定期的に把握するとともに、日本の現状を紹介。相互の交流を通じてビジョン・ケアの質的向上を図る。 (1) 毎年1回開催される世界オプトメトリー会議へ出席
13	関係団体との協調に関する事業 (法人会計)	(1) 日本眼鏡関連団体協議会が原則として年4回開催する幹事会に出席、認定眼鏡士の登録状況報告などを通じて、眼鏡業界の動向把握・協調体制の確立に努める (2) 各地区消費者センターなどの関連団体との協調に努める (3) 日本眼鏡販売店連合会との協調に努める

各事業計画末尾の（）内注記 公1、公2、公3、公4、公5、法人会計の解説

公益社団法人への移行（平成23年4月1日）に伴い、公益事業を意識した事業運営が求められている。当協会が内閣府に対して申請した公益事業の概要を記載し、これまでの事業が公益事業のどの区分に該当するか、事業計画の項目ごとに追記し明確化した。

●公1：公益事業1＝「資格付与」に関連する事業

眼鏡技術者の資質の向上を図ることを目的として、一定の技術・知識レベルを持った人を「認定眼鏡士」として認定し、3年間の有効期限付き「認定眼鏡士登録証」を発行。また、資格保有者に対して生涯教育の受講を義務づけ、有効期間内に一定の条件を満たした人に、有効期限を更新した「認定眼鏡士登録証」を交付している。このように常に最新の技術・知識をもった認定眼鏡士を認定することにより、一般消費者が適切な視力を維持するための支援ができる人材を認定し公表することにより、一般消費者の利益の増進に寄与する事業

具体的事業 ①SS級認定眼鏡士資格試験（教育部担当） ②SSS級認定眼鏡士資格試験（教育部担当） ③認定眼鏡士登録証発行（会員組織部担当） ④認定資格制定委員会の運営（法制部担当）

●公2：公益事業2＝「講座、セミナー、育成」に関連する事業

眼鏡技術者の資質の向上を図るため、会員はもとより一般の眼鏡技術者に対して、新しい技術・知識を盛り込んだ講習会を毎年開催する。このことにより、一般消費者は常に新しい技術・知識に基づくビジョン・ケアを受けることができるなど、一般消費者の利益の増進に寄与する事業

具体的事業 ①生涯教育・実技講習会（教育部担当） ②SSS級試験の事前講習会（教育部担当）

●公3：公益事業3＝「調査、資料収集」に関連する事業

国内外の眼鏡関連団体との交流を通じて、新しい技術・知識についての情報収集や、眼鏡専門学校の毎年の卒業生の優秀論文を収集し、ホームページ、会報誌等に掲載し、眼鏡技術者の知識レベルの維持向上に貢献し、もって一般消費者の利益の増進に寄与する事業

具体的事業 ①WCO（世界オプトメトリー会議）、APOC（アジア太平洋オプトメトリー大会）、ISO国際会議などへの出席や国内の眼鏡学校卒業生の優秀論文の収集などを通じて、国内外の新しい技術・知識の情報を収集（国際部、法制部担当）

●公4：公益事業4＝「キャンペーン」に関連する事業

認定眼鏡士の目的、役割、該当する眼鏡技術者の公開等を通じて、一般消費者が適切な視力を維持するための支援ができる人の存在を知らしめるなど、一般消費者の利益の増進に寄与する事業。また、メガネの日を中心とした地域におけるメガネの洗浄、修理等のボランティア事業のほか、会報誌、ホームページを通じて会員ならびに一般の眼鏡技術者に新しい技術・知識の情報を提供し眼鏡技術者の活性化を図り、もって一般消費者の利益の増進に寄与する事業

具体的事業 ①認定眼鏡士PR（広報部担当） ②会報誌の発行（広報部担当） ③教育特集号の発行（教育部、広報部担当） ④ホームページの維持・改善（広報部担当）

●公5：公益事業5＝「助成」に関連する事業

国内外への失明予防活動への寄付金事業などを通じた目に関する社会福祉事業

具体的事業 ①日本失明予防協会への寄付金事業 ②WCO（世界オプトメトリー会議）への寄付金事業

●法人会計＝組織（当協会）を維持するための活動

具体的事業 ①総会、理事会、会員管理、会費の入金・支出管理など上記の5つの公益事業に属さない事業を「法人会計」関連事業と位置づけている。

平成 25 年度 収支予算書

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

科 目	予 算 額	前年度予算額	前年度対比	備考
	(円)	(円)	(円)	
I. 収入の部				
1. 入会金収入	3,400,000	3,000,000	400,000	
2. 会費収入	39,137,000	42,763,000	△ 3,626,000	
3. 特別会費	27,085,000	42,380,000	△ 15,295,000	
4. 教育部収入	22,817,000	23,385,000	△ 568,000	
5. 雑収入	470,000	465,000	5,000	
6. 支部事業収入他	1,630,000	1,256,000	374,000	
当期収入合計 (A)	94,539,000	113,249,000	△ 18,710,000	
前期繰越収支差額	23,872,395	31,590,300	△ 7,717,905	(注1)
収入合計 (B)	118,411,395	144,839,300	△ 26,427,905	
II. 支出の部				
1. 事業費	60,808,000	69,878,000	△ 9,070,000	
(1) 教育関連事業	28,550,000	30,800,000	△ 2,250,000	
(2) 普及啓蒙事業	10,000,000	10,000,000	0	
(3) 社会福祉事業	830,000	1,000,000	△ 170,000	
(4) 広報活動事業	3,050,000	3,050,000	0	
(5) 組織強化事業	6,741,000	12,286,000	△ 5,545,000	
(6) 調査研究事業	1,000,000	1,000,000	0	
(7) 海外交流事業	2,110,000	2,410,000	△ 300,000	
(8) 関係団体事業	300,000	300,000	0	
(9) 支部事業費	8,227,000	9,032,000	△ 805,000	
2. 管理費	54,712,000	53,672,000	1,040,000	
(1) 本部管理費	41,160,000	39,770,000	1,390,000	
(2) 支部管理費	13,552,000	13,902,000	△ 350,000	
3. 予備費	0	0	0	
当期支出合計 (C)	115,520,000	123,550,000	△ 8,030,000	
当期収支差額 (A)-(C)	△ 20,981,000	△ 10,301,000	△ 10,680,000	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	2,891,395	21,289,300	△ 18,397,905	

(注1) 25 年度予算額の欄の前期繰越収支差額 23,872,395 円は、平成 24 年度決算見通しに基づく予想数値を記載



内田 豪氏

(めがね技術
コンサルタント)



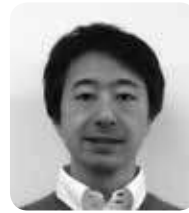
近藤正徳氏

(近藤メガネ相談室)



野矢 正氏

(眼鏡視力研究所)



山城浩哉氏

(かわばた眼科)



和田 修氏

(累進眼鏡
科学研究所)



林 光久氏

(東京眼鏡専門学校)



長戸榮卓氏

(東京眼鏡専門学校)



関 真司氏

(キクチ眼鏡専門学校)



吉野 勝氏

(日本眼鏡技術専門学校)

**生涯教育、実技講習を
ご担当いただく講師の皆さんです**
(順不同)



金子 弘氏

(ワールド オプティカル
カレッジ)



近藤正己氏

(ワールド オプティカル
カレッジ)



秀野良児氏

(ワールド オプティカル
カレッジ)



林 則次氏

(ワールド オプティカル
カレッジ)

今年度の生涯教育、実技講習会のテーマ・内容です。
詳細は、6月上旬にお届けする教育特集号に掲載します。

生涯教育講習会 (3テーマで1講習)

1. 「出直し、レンズ光学の基礎 - その1」
眼鏡技術者に必要とされる光学とは
(1時間30分)
2. 眼鏡技術者のための眼科学
「眼表面の生理とその働き」
(1時間)
3. 「3D映像と視機能問題への対処」
視機能検査導入への勧め
(30分)

実技講習会

(7テーマ、各支部の任意開催でテーマも支部で選択)

1. 眼位検査の各種
2. 基礎から始める屈折測定 (眼鏡度数設定の勘所)
3. 累進屈折力レンズ、度数決定のポイント
(中近&近々レンズを活用しよう)
4. 深視力検査
5. 斜位の各種検査法 *
6. メガネ店でできるビジョントレーニング *
7. 累進眼鏡のフィッティングとレイアウト実技

—快適な眼鏡を目指して—

*は24年度と同一テーマ

終日の受講で2ポイントとなる認定講習会 (日本眼鏡学会主催、愛知県支部共催) の
ご案内を15、16ページに掲載しています。

- 転勤・引越の際は変更届をお願いします
- 認定眼鏡士更新年をご確認ください

自宅住所・勤務(支店)先の変更、改姓など、されてませんか? ご案内や書類、会報、
会費年度シール、認定眼鏡士の登録証などが、お届けできない場合があります。

- 変更届は、毎年5月末から6月初めにお届けしている教育特集号に同封されていますので
ご利用ください。また、電話・FAX・E-mailでも結構です
- ご結婚などによる改姓は、新旧2つの姓が明記されている運転免許証や厚生年金手帳な
どの公的書類をコピーして、変更届とともに郵便・FAXなどでお送りください。その際、
会員番号も必ず明記してください

来年度、認定眼鏡士の更新年に当たる方(有効期限が2014年3月31日の方)はでき
るだけ年内に受講回数を満たしてください。

- 「生涯教育に行く時間がない」「会場が遠い」という場合は、通信講座をご利用ください
- 「受講回数がわからない」「不足しているかも・・・」という場合は、事務局までお気軽に
お問い合わせください

お問い合わせは事務局まで ☎ 06 - 4807 - 5070 FAX 06 - 4807 - 5009 ✉ joa@maple.ocn.ne.jp



消費生活センターなどを通じてのお問い合わせ・ご相談

消費者の方からのご相談・お問い合わせについては、各地域の消費生活センターなどを通じて受け、消費者対策委員会（亀井正美委員長）からの回答を同センター宛てに返送しています。

※回答は一般向けに専門用語の補足説明などを付け加えていますが、誌面では省略しています。

相

ツーポイントとナイロールのフレームを持ち込み、遠近両用で同じ度数のレンズを入れてもらった。ツーポイントは違和感がなく、小さな文字もよく読めるが、ナイロールは違和感があり読みにくい。すぐに店に申し出たところ、「保証期間内であれば、レンズを無償で交換する」と言われたので、同じ度数で他のメーカーのレンズを入れてもらった。メーカーは最初がニコン、交換後が HOYA だが、同じように違和感があり読みにくい。同じ度数でも、フレームやメーカーによって違うものですか。それとも店のミスでしょうか。（川崎市消費者行政センター 24.11.28）

答

レンズを無償交換するよりも、まず違和感のない調整をするのが技術者としての本来のあり方だと思います。レンズを交換すれば済むという考え方は技術者としていかがなものでしょうか。

1、遠近両用に限らず、同じ度数・設計でもフレームによっては違う感じになるかもしれません。玉型の大きさの違いなどにより側方視の違和感などがあっても、多少の違いはしばらくすると解消できることもあります。

2、メーカーによってもレンズ設計により、感じが違うことがあります。特に遠近両用の場合は、各社それぞれ特色のあるレンズ設計ですので、同じ度数・フレームでも違和感を感じる場合があります。

3、ご質問の内容からは、ツーポイントとナイロールがどのような作られ方なのかわかりません。レンズのアイポイントの位置の設計、フレームの前傾角・そり角・

角膜頂点距離など、フィッティング調整が違えば遠近両用の場合かなり見にくくなる可能性があります。フィッティング調整で違和感が解消される可能性もあります。ツーポイントの方が、穴の位置や角度が少しずれただけでもフィッティング調整が難しく、違和感のある場合があります。ツーポイントは、違和感がないとのことですので、調整がうまくいったと思われます。遠近両用は、アイポイントが数 mm、角度が数度ずれただけでも違和感を訴えることが多いです。認定眼鏡士は、フィッティングの勉強や最新の累進レンズの講習会を行って、この違和感をどう解消するか日々研究しています。※文中ツーポイントフレームをツーポイント、ナイロールフレームをナイロールと略しています。

相

眼鏡店で検眼の上、メガネを作ったが合わない。苦情を言うと「眼科で検眼してください。それによってはメガネを作り直します」と店員に言われた。「眼鏡店で検眼したのに合わないのはおかしい、検眼するには何か資格がいるのではないか」と尋ねると、店員は資格がなくても検眼はできると答えた。

メガネは大切なものなのに、無資格でも検眼できるのか知りたい。

消費生活センターで、協会のHPを見て「認定眼鏡士」という資格があることを確認したが、資格がなくても検眼・接客対応が可能なのですか（あかし消費生活センター 25.1.4）

答

1、わが国では、眼鏡制作（屈折測定、制作、調整など）のための資格は不要です。眼鏡専門学校などで勉強をせず、少しの企業研修などでメガネを製作されている方もおられます。

2、「認定眼鏡士」は、当協会が認定する眼鏡業界唯一の資格で、公的な資格ではありません。現在、認定眼鏡士は、眼鏡専門学校卒業が第一条件で、ほかに資格試験の合格者だけに与えられます。

3、海外のほとんどの国では、専門教育をベースとした公的な資格があります。

4、当協会では、(財)日本消費者協会に依頼し、消費者アンケートを実施(2010年7月)しました。その中で、眼鏡技術者に国家資格が必要と82%の人が回答されています。

5、このような状況を改善するため、眼鏡業界が一丸となり「眼鏡技術者の国家資格」を推進しようと眼鏡技術者国家資格推進機構を組織し、活動を始めています。

ただし、眼の病気などで見にくいなどの場合、眼鏡技術者は病気の診断ができませんので眼科で受診していただかなくてはなりません。そのような場合のために認定眼鏡士は眼科学を学び、眼科と連携してお客様のビジョンケアに努めています。※この回答にリーフレットを同封し理解を求めました。

子供の花粉用眼鏡に注意！

子供用の花粉防御用メガネを掛けている際の事故が起こっていると、独立行政法人国民生活センターが発表（2月）し注意を呼びかけています。

■相談事例（概略）

- ①小5 男児が運動場でぶつかり目の上を3針縫う怪我。その5日前には小3 女児が軽症
- ②体育の授業中、7歳男児にほかの児童が走ってきてぶつかり、目の上を6cm 切り8針縫った
- ③7歳男児が3段ある玄関ポーチで転倒、前方の門扉にぶつかり左眉を4cm 切り、9針縫う怪我
- ④9歳男児が野球の練習中、ダイビングキャッチの際にスプリンクラーにぶつかり、右まぶたに長さ1cm、深さ4mm 程度の挫創

■消費者へのアドバイス

子供が装着する場合は、強い衝撃が起きることのあるスポーツや激しい運動が想定される場合は、使用しないようにするなど注意をする

■事業者への要望

事故防止のため、使用者や保護者に対してフレームによる怪我の危険性に関する表示や運動時の使用について注意を喚起するような表示を徹底してほしい

詳しくは、国民生活センターのHP (<http://www.kokusen.go.jp/>) をご覧ください。

当協会HPからもリンクしています。

眼鏡士のための算学②

technological lecture

日本眼鏡技術専門学校 講師 吉野勝

(前回 140 号からの続き)

連載といっても前回から数ヶ月も経ってしまうと、そのつど元に戻ってしまうので、書く側も読む皆さんも大変ですね。

前回の図 1 をもう一度示します。

この図で点 P が円周上をぐるぐる回るとき、P からまっすぐ x 軸に降ろした点 Q までの直線 PQ の長さ s は角 θ が関係していることが、前回わかりました。

このことを、「s は角 θ の関数」である、といいます。「 θ が変われば s が変わる」両者は関係している、ということととらえてください。

では今度は MQ の長さである c に着目することにししょう (図 2)。

θ が 0° の時には、s が 0、c が 1 です。これを c の長さに着目して

$$\cos 0^\circ = 1 \quad \text{と表します。}$$

これが「コサイン」です。

θ が 90° の時には、c の長さが 0 になるので

$$\cos 90^\circ = 0$$

また θ が 180° の時は、x 軸は原点 M を挟んだマイナスの領域にありますから、

$$\cos 180^\circ = -1 \quad \text{となります。}$$

P が真下にくる θ が 270° では、

$$\cos 270^\circ = 0$$

ぐるっと一周した 360° では、

$$\cos 360^\circ = 1 \quad \text{となります。}$$

そして、c に関しても s と同じように、「c は角 θ の関数」である、といいます。

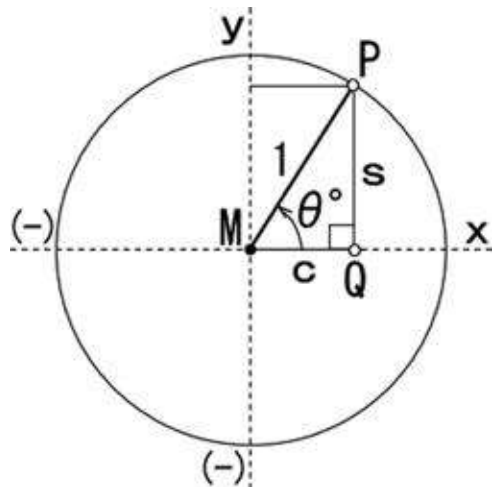


図 1

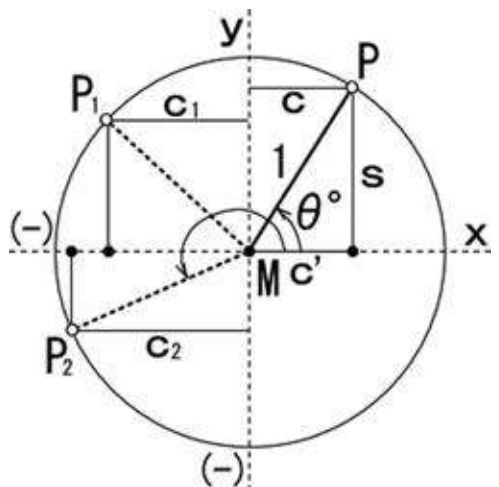


図 2

これらをまとめて三角関数といい、

$$s = \sin \theta$$

$$c = \cos \theta$$

と表すことができるのです。三角関数というのは、「直角三角形という形を持つ数学的な性質のひとつ」です。

そして半径1の円を使うと、三角関数の値は単に「1本の線の長さ」で表すことができるのです。角度 θ と「線の長さ」の関係を一覧表にしたものが三角関数表といわれるものです（表1）。

表 1

θ°	$\sin \theta^\circ$ (sの長さ)	$\cos \theta^\circ$ (cの長さ)	θ°	$\sin \theta^\circ$ (sの長さ)	$\cos \theta^\circ$ (cの長さ)	θ°	$\sin \theta^\circ$ (sの長さ)	$\cos \theta^\circ$ (cの長さ)
0	0.0000	1.0000	30	0.5000	0.8660	60	0.8660	0.5000
1	0.0175	0.9998	31	0.5150	0.8572	61	0.8746	0.4848
2	0.0349	0.9994	32	0.5299	0.8480	62	0.8829	0.4695
3	0.0523	0.9986	33	0.5446	0.8387	63	0.8910	0.4540
4	0.0698	0.9976	34	0.5592	0.8290	64	0.8988	0.4384
5	0.0872	0.9962	35	0.5736	0.8192	65	0.9063	0.4226
6	0.1045	0.9945	36	0.5878	0.8090	66	0.9135	0.4067
7	0.1219	0.9925	37	0.6018	0.7986	67	0.9205	0.3907
8	0.1392	0.9903	38	0.6157	0.7880	68	0.9272	0.3746
9	0.1564	0.9877	39	0.6293	0.7771	69	0.9336	0.3584
10	0.1736	0.9848	40	0.6428	0.7660	70	0.9397	0.3420
11	0.1908	0.9816	41	0.6561	0.7547	71	0.9455	0.3256
12	0.2079	0.9781	42	0.6691	0.7431	72	0.9511	0.3090
13	0.2250	0.9744	43	0.6820	0.7314	73	0.9563	0.2924
14	0.2419	0.9703	44	0.6947	0.7193	74	0.9613	0.2756
15	0.2588	0.9659	45	0.7071	0.7071	75	0.9659	0.2588
16	0.2756	0.9613	46	0.7193	0.6947	76	0.9703	0.2419
17	0.2924	0.9563	47	0.7314	0.6820	77	0.9744	0.2250
18	0.3090	0.9511	48	0.7431	0.6691	78	0.9781	0.2079
19	0.3256	0.9455	49	0.7547	0.6561	79	0.9816	0.1908
20	0.3420	0.9397	50	0.7660	0.6428	80	0.9848	0.1736
21	0.3584	0.9336	51	0.7771	0.6293	81	0.9877	0.1564
22	0.3746	0.9272	52	0.7880	0.6157	82	0.9903	0.1392
23	0.3907	0.9205	53	0.7986	0.6018	83	0.9925	0.1219
24	0.4067	0.9135	54	0.8090	0.5878	84	0.9945	0.1045
25	0.4226	0.9063	55	0.8192	0.5736	85	0.9962	0.0872
26	0.4384	0.8988	56	0.8290	0.5592	86	0.9976	0.0698
27	0.4540	0.8910	57	0.8387	0.5446	87	0.9986	0.0523
28	0.4695	0.8829	58	0.8480	0.5299	88	0.9994	0.0349
29	0.4848	0.8746	59	0.8572	0.5150	89	0.9998	0.0175
						90	1.0000	0.0000

これを覚える必要はありません。ただ「円の半径を1としたとき、x軸との角度 θ° におけるs、cの長さを示している」とだけわかっていたら結構です。90°までしかありませんが、これが基本です。ではそれ以上の角度のときは、どう考えればいいのでしょうか。

たとえば図2のP1が138°のところにあったとしましょう。この部分だけを図3に書き直しました。P1までは確かに150°ですが、ここで必要なのは θ° のほうです。

ですから、

$$\theta = 180^\circ - 138^\circ = 42^\circ$$

すなわち表1の42°のところを見ればよいわけです。

三角形の内側の角度で考えるのです。

そうすると、表1より

$$s_1 = \sin 42^\circ = 0.6691$$

$$\text{また、} c_1 = \cos 42^\circ = 0.7431$$

という長さになることがわかります。

ただ、単なる「長さ」を知りたいだけならこれでかまわないのですが、三角関数本来の「原点からの方向と長さ」という考え方に立てば、もう一步踏み込まなければなりません。

図3の s_1 、 c_1 は、それぞれグラフのy軸、x軸に沿った長さです。 s_1 はy軸の原点よりも上にありますから(+)ですが、 c_1 はx軸の原点より左側でここは(-)の領域になります。

ですから、そういうことまで含んで考えると、

$$s_1 = \sin 138^\circ = \sin 42^\circ = 0.6691$$

$$\text{また、} c_1 = \cos 138^\circ = -\cos 42^\circ = -0.7431$$

ということになるのです。

円周の領域による(+)(-)の区別を図で示すと図4のようになります。

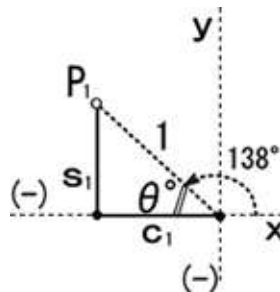


図3

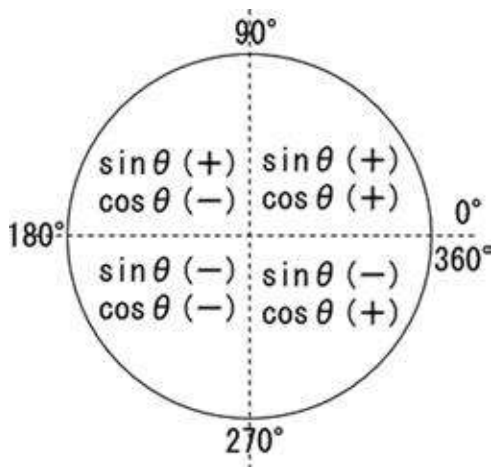


図4

認定講習会のお知らせ

日本眼鏡学会「第17回年次セミナー」当協会 愛知県支部共催

今年度は愛知県支部との共催で実施されます。

終日の受講で2単位取得できますので、ぜひ受講してください。

■開催日時・会場

日時／5月22日(水) 午前9時30分～午後5時00分(予定)

会場／キクチ眼鏡専門学校 6F 西館 603 教室

(愛知県名古屋市東区泉2-5-5)

最寄り駅：名古屋市宮桜通線 高岳駅下車徒歩7分

■内 容 研究発表 一般講演(順不同)

「重心動揺検査における視覚系とロンベルグ率との関係」

金澤正継氏(ほか3名)／北里大学大学院医療系研究科

「眼の下方回旋量と下眼瞼運動の相互作用」 和田修氏／累進眼鏡科学研究所

「低加入度眼鏡装用時の調節機能の変化」

三好由華氏(ほか1名)／専門学校 ワールド オプティカル カレッジ

「両眼視機能における3D技術の進歩と今後の展望」

藤原義久氏／近江時計眼鏡宝飾専門学校

「発達障害児における両眼視異常が学習に与える影響 ―パイロットスタディー―」

奥村智人氏(ほか4名)／大阪医科大学 LD センター

「角膜の厚みと角膜前面乱視」

張充娥氏／北里大学大学院医療系研究科

(第17期定時総会)(昼食)

研究発表 ポスター展示

「中近累進焦点レンズの選び方」

宮崎謙氏／(株)ニコン・エシロール

「眼鏡レンズモニター評価の信頼性向上」 三浦仁志氏(ほか1名)／東海光学(株)

「夜間用眼鏡の屈折矯正」

鈴木栄二氏／東海光学(株)

「波面センサーを活用した次世代の視覚矯正」

松本浩一氏／カールツァイスビジョンジャパン(株)

「装用条件変化による累進屈折力レンズ見え方評価の考察」

大嶽泰久氏／HOYA(株)ビジョンケアカンパニー

特別講演

「眼鏡店でできる両眼視機能への基礎的アプローチ ～予備検査の重要性～」

木部俊宏氏／メガネの一心堂

「3D知覚メカニズムと両眼視機能」

江本正喜氏／NHK放送技術研究所

(懇親会) 講演終了後、開催 ※懇親会参加費 5,000円(ご希望の方)

■単 位 2単位(終日受講)

■受 講 料 7,000円(日本眼鏡学会会員は無料)

■申込締切日 5月16日(木) ※定員になり次第締め切り

第17回日本眼鏡学会・年次セミナー参加申込書(一般用)

2013年5月22日 キクチ眼鏡専門学校

定員になり次第申し込みは締め切りとなりますので、ご了承ください

- 年次セミナーを受講したく、下記の通り申し込みます(1人1枚)

貴社(店)名 : _____

受講者名 : _____

連絡先ご住所 : 〒 _____

電話番号 : _____ E-mail : _____

- 受講料7,000円は当日会場の受付でお支払いください。
申込みをいただいた方には、折り返し年次セミナー参加証(ハガキ)を送付いたします。

(公社)日本眼鏡技術者協会 会員用

- (公社)日本眼鏡技術者協会会員または認定眼鏡士の方は、番号をご記入ください

会 員 N o . _____

または

認定眼鏡士登録 N o . _____

- 昼食弁当の申し込み：昼食弁当(飲み物込み)を1,000円でご用意いたします。お支払は当日会場にて、引き換えをお願いします。

お弁当の注文を する しない

- 懇親会(別会場)の参加申し込み：セミナー終了後の懇親会です。参加費5,000円は当日受付でお願いします。

懇 親 会 に 参加する 参加しない

※ご記入後、FAX(03-5818-1870)でお申し込み下さい。複数のご参加の場合は、お手数ですがコピーしていただき、それぞれお送り下さい。

日本眼鏡学会事務局：〒110-0016 東京都台東区台東1-8-7 加藤ビル 眼鏡光学出版(株)内
TEL03-5818-1051 FAX 03-5818-1870